

進路だより

豊中十三中 令和4年(2022年)7月6日(水)発行

★今回の懇談で考えてほしい大切な事は。

来週月曜から始まる期末懇談では、「どの高校なら行ける？」や「可能性はある？」という話ではなく、生徒と保護者の皆さんの希望を担当がしっかりと聞き、「これから、どういう方向で進路を考えるのが良いか？」を生徒・保護者の方・担任が共有する事が大切です。



以前、大阪府教育庁の首席指導主事から次のような話を聞きました。

「夏休み中には、多くの公立高校・私立高校が一堂に集まるイベントが開催されます。」

「生徒や保護者の皆さんには、そういうところに足を運んでもらい、複数の高校の先生方とダイレクトに話をしてほしいのです。」

「高校の先生から話を聞いて、この高校は『子どもさんに向いている／向いていない』等をご家庭で考え、2学期以降は実際に各高校のオープンスクール等に行ってほしいですね。」

「だから、1学期の懇談では進路を“広く”考えてもらい、担任の先生に『ご家庭の意向・希望』『子どもさんの興味・関心のある事』を伝えてください。」

懇談に来られるまでに、お家で子どもさんの希望等を聞かれ、保護者の方も「こういう進路を考えてほしい」等を伝えて下さい。また、不安な事や疑問に思われる事があれば、進路希望調査に書いてくだされば、懇談時にご回答します。

◎今回の懇談では、次の冊子や資料を配布しますので、お家でゆっくりご覧ください。

- ①令和5年度 公立高校ガイド・・・府内の各公立高校や入試情報等が紹介されています。
- ②2023 入試 私学のイイとこ満載!・・・府内の私立高校の色々な情報が掲載されています。
- ③大阪府育英会一奨学金のチラシ・・・奨学金の申し込みは9月中旬に開始です。
- ④旧第一学区(※大阪の北部地域)にある各公立高校の『文化祭日程』一覧
- ⑤旧第一学区にある各公立高校の『今年7月～12月に実施される説明会等』の一覧
- ⑥大阪府にある各私立高校の『今年度のオープンスクール・説明会』等の一覧

今年度も、殆どの公立高校・私立高校が「説明会やオープンスクールに参加する場合は、事前に高校HPから申し込みが必要」とされています。申込の開始時期・終了時期は高校によって異なりますので、ご注意ください。

★今年度の公立高校進学フェア・大阪府私学展について

＜大阪府公立高校進学フェア2023＞

7月24日(日)にインテックス大阪6号館で『進学フェア2023』が開催されます。入場は無料ですが、事前の申し込みが必要です。大阪府教育庁HPには、右のポスターがアップされていますから、興味のある人は各自で申し込みを済ませて下さい。

＜大阪私立学校展＞

8月13日(土)と14日(日)に、天満橋OMMビル2階で『大阪私立学校展』が開催されます。こちらも入場は無料ですが、事前に申し込みが必要です。興味のある人は、PC等で『大阪私立学校展』を検索して下さい。



※どちらのイベントも、懇談の時に渡す冊子(①、②)に詳細が書かれています。3年生のHR教室の廊下には各種ポスターを貼っていますから、保護者の方は懇談に来られた際にご覧下さい。

★進路希望調査に書いて下さった質問へお答えします。



今回、進路希望調査に書いて下さった質問の中で「一般的な内容」について、今回の紙面で回答します。なお、個別の質問については、懇談の席上で担任からお返事します。また、『私たちの進路ー進路の手びき』を懇談時に渡しますので、夏休み中に各ご家庭で読んでください。

Q1: どの高校なら行けるのか? どのレベルに本人がいるのか確認したい。

A1: 今回の懇談で最初にお聞きしたいのは、「どういう進路を、生徒・保護者はお考えなのか?」「それは何故か?」です。生徒本人・保護者の希望を全く聞かずに「今の成績なら、A, B, C高校ですね。」と担任が伝えてしまう事は、生徒本人の『これからの頑張りや希望・興味の変化』を全く加味していない懇談になります。

なお、本校では生徒の席次・偏差値等は算出していませんので、「どのレベル?」等へのご質問にはお答えできません。



Q2：エンパワメントスクールの事が聞きたい。

A 2:2015年に、大阪府内で『箕面東、西成、長吉』の3校がエンパワメントスクールとして開校しました。学校は『総合学科の高校』で、高校1年生の時は、国語・数学・英語の3教科で「毎日30分×3時間」のモジュール授業を行っています。各高校のHPも参考にして下さい。

★進路の手びき:P25を参照

Q3：長男（又は長女）なので、進路に関する情報が少ない。どうすれば良いですか？

A 3:進路に関する情報の第一歩は、“HP”です。ただ、ネット上には「それらしい情報」がたくさんありますので、公立高校なら『大阪府教育庁(咲くなび)』、私立高校なら『大阪府私学連合』のホームページをお薦めします。

両HPから、色々な高校のHPにアクセスできますし、『入試や説明会に関する情報』等がアップされています。「らしい情報」ではなく「正しい／適切な情報」を入手されたら、興味のある高校へ実際に行き、生徒自身が「見て感じる」事を大切にして下さい。

Q4：昨年度、十三中から『文理学科』へ入学した人数は？クラスで、何位ぐらいに入れば文理学科に合格しますか？



A 4:「〇〇高校／◎◎学科への入学者数」は、本校ではオープンにしません。また、「クラスで何位に入れば」というようなデータを、本校では作成していません。何故なら、公立高校入試の合否決定は「各年度の出願数によって大きく左右される」と言えるからです。

★進路の手びき:P41～P44を参照

なお、各公立高校への希望数は、12月以降に大阪府全体で調査をした結果をHR教室に掲示します。参考にして下さい。

Q5：クラブ活動を中心に進路を考えている。各高校の部員数・活動内容を知りたい。

A 5:各高校のクラブ活動に関する情報—例えば“部員数や活動時間・戦績”などは、学校説明会やオープンスクールに参加され、高校の先生に直接尋ねるのが一番です。高校のHPには「〇〇部がある」と書いてあるが、高校の先生に実際に尋ねると「部員が殆どいないので、今は休部中。来年は廃部になる。」という事例も過去にはありました。

HPだけで判断せず、2学期以降は色々な高校の説明会・オープンスクールに参加して、気になる事はドンドン質問しましょう。

「そんな事をしたら、悪い印象を持たれて、不合格になってしまうのでは？」—“絶対ない”と断言できます。

Q6：希望校に合格するには、定期・実力テストで何点ぐらい必要かを知りたい。



A 6:私立高校の場合、『募集定員』と関係なく「専願なら●点以上、併願なら◎点以上の入試点なら合格」という情報をオープンにしています。過去の入試問題が市販されていたり、説明会・オープンスクールに行けば無料でもらえますから、「定期・実力テスト」を目安にするより、実際の入試問題にトライして「何点ぐらい取れる？」が参考になるでしょう。

一方、公立高校の場合、「A4」にも書いてあるように『出願数』によって合否結果が大きく左右されますので、「定期・実力テストで何点あれば～」をお示しするのは非常にリスクです。

2学期以降、生徒・保護者の方が「進路の方向性」を固められ、各公立高校への希望数を我々がキヤッチした段階なら、ある程度の目安ならお示しできると思いますが、今回の懇談では「どういう進路の方向性をお考えなのか？」を、しっかり共有したいと考えています。

Q7：公立高校の『総合学科と普通科』の違いは何ですか？

A 7:普通科の高校は、簡単に言えば「学ぶスタイルは十三中と同じ」と考えて下さい。一方、総合学科の高校は『高校2年生では約半分、高校3年生では約70%』の科目を生徒自身が選択する、という学びのスタイルになります。

普通科の高校でも選択科目はありますが、総合学科の高校では「100以上の選択科目」が設定されていますので、選択科目数にかなりの差があると言えます。

しかし、「将来は外国語系の大学へ」と考えているのに、『体育系や理数系の科目ばかり選択』すると外国語系の大学への進学が難しくなります。

そういった進路選択のミスマッチが起こらないよう、総合学科の高校では、担任の先生を中心に、「将来の希望は？」「だったら、こういう科目を選択すれば良い。」という相談体制が整っています。

★進路の手びき:P23～P24を参照

Q8：大阪府の育英会奨学金を考えていますが、申し込みはいつ頃ですか？また、成績の基準などはあるのですか？

A 8:予約奨学生の申し込み時期は、今年の9月中旬～10月上旬です。

今回の懇談で「奨学金の申し込みを考えている。」と担任に伝えてくださった方には、2学期に入ってから『申込書類一式』を渡します。なお、成績基準は一切ありません。

★進路の手びき:P14～P15を参照

Q9：私立高校を「専願・併願」のどちらで受けるかは、いつ頃に決定ですか？

A 9:私立高校の受験に関わる事は、最終的には『12月の期末懇談』で決定してもらいます。この席上で「専願・併願」を決め、年が明ければ出願書類の作成→1月下旬には受験校へ出願、という流れです。

★進路の手びき:P21を参照

